

大きな機械がないよ。どんな道具を使っていたのかな。



【昔の道具①】



もっこ



四人づき

このせきができたのは、昔の人のちえと工夫、たくさんの努力があったからよ。何があったのか、いっしょに調べましょう。



よろいぜきの大ぜきは、75段で100mほどの長さになったと考えられています。(いろいろな説があります)

⑤ 力を合わせて



工をする人たち

せきづくりは、人夫がけがをしたり、死んだりするなど、とてもたいへんな工事でした。

瀬兵衛は人々をはげまし、人々もくじけず工事を続けました。そして、10年がかりでようやく新しいせきができあがりしました。

完成した新しい藤井せきは、土手の高さが4.5m、長さ1278m、大小2つのよろいぜきがあり、大ぜきは75段、幅63m、小ぜきは51段、幅25mもある巨大なせきでした。



完成したよろいぜきの一部(せきのしくみが見えるようにかいた絵)

⑥ 東江用水と切り通し

藤井せきをつくるのと同じように、用水路のなかった鯖石川の東がわにも用水路をつくりました。この用水路を「東江」といいます。藤井せきから2400mもほりわって、水を通す工事でした。とちゅう、高さが10mもあるかと思われる山にぶつ



平井地区の切り通し

かりましたが、その山もほりわって進みました。この場所は今は「切り通し」と呼ばれています。この東江も藤井せきと同じく10年がかりで完成しました。

東江のおかげで、一面に葎がしげっていた鯖石川の東がわが青々とした田に生まれ変わりました。また、前からあった西江も藤井せきのおかげで、いつも十分な水が流れるようになりました。

⑦ 瀬兵衛が残したもの

瀬兵衛は、藤井せきのほかにも、柏崎のために多くの工事をしました。瀬兵衛は仕事をやめた後も、平井地区の人々の願いで柏崎に住み続け、87才でなくなりました。平井地区の人は、お墓を建て、瀬兵衛のことをいつまでもわすれませんでした。

瀬兵衛さんは、ほかにどんなことをしたのかな。



p.95の地図で「切り通し」の場所をたしかめましょう。



瀬兵衛の藤井せきづくりの努力をたたえる石碑(平井地区の福勝寺)

青山瀬兵衛の工夫や努力について、感じたことをまとめましょう。

Blank area for writing with horizontal lines.